



2026年 8 月27日
株式会社タイミー
(215A 東証グロース)

フィジカルAI時代の新たな仕事創出に向けた 共創パートナーシップをジールスと締結

当社は、準国産コンパクトヒューマノイド「D1」を展開する株式会社ZEALS（本社：東京都目黒区、代表取締役：清水正大、以下「ジールス」）と、フィジカルAI時代に必要となる新たなスポットワークの創出に向けた共創パートナーシップを締結したことをお知らせします。

近年、デジタル領域におけるAI活用が急速に広がる一方で、現実空間で人や物、環境と相互作用する「フィジカルAI」の活用は一部にとどまっています。その主な要因として、デジタルデータのみならず、現実世界における身体性を伴うデータ（物の持ち方、作業手順、現場での判断基準など）の収集が必要不可欠であることが挙げられます。

当社は46万拠点（登録アカウント）を超える人手不足の現場を有し、その多くの現場で、業務の切り出しやマニュアル作成をはじめとするBPR（業務プロセス再設計）を推進してまいりました。一方で、これらのアセットをフィジカルAI時代における確固たる強みへと変えるためには、高品質な身体性データの蓄積が急務であると考えております。

ジールスとの本パートナーシップは、まさにこの課題解決に向けた重要な取り組みとなります。多様な現場と働き手をつないできたタイミーとヒューマノイドロボット・AI開発に強みを持つジールスとで、「フィジカルAI向けスポットワークの設計」、「データ品質を担保する運用体制の構築」、「ロボット導入・運用支援領域でのスポットワーカー活用」などを適切な安全管理・プライバシー配慮を前提に共同で検討してまいります。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以上

はたらくに“彩り”を。



Press Release

2026年8月27日
株式会社タイミー

タイミー、フィジカルAI時代の新たな仕事創出に向けた 共創パートナーシップをジールスと締結 米中で急速に拡大するフィジカルAI向け現実世界データ収集領域において、 スポットワークを通じた新たな仕事カテゴリを共創

スキマバイトサービス「タイミー」を提供する株式会社タイミー（所在地：東京都港区、以下タイミー）と、準国産コンパクトヒューマノイド「D1」を展開する株式会社ZEALS（本社：東京都目黒区、代表取締役：清水正大、以下「ジールス」）は、フィジカルAI時代に必要となる新たなスポットワークの創出に向けた共創パートナーシップを締結したことをお知らせします。

多様な現場と働き手をつないできたタイミーの知見と、ヒューマノイドロボット・AI開発に強みを持つジールスとで、フィジカルAIの学習・改善に資する現実世界データの収集領域において、適切な安全管理・プライバシー配慮を前提に、新たなスポットワークの可能性を共同で検討してまいります。



パートナーシップ締結の背景

近年、生成AIの進化により、テキスト、画像、音声など、デジタル領域におけるAI活用は急速に広がる一方で、ロボットやヒューマノイドのように、現実空間で人や物、環境と相互作用するフィジカルAIの活用は一部にとどまっています。これは、デジタルデータだけではなく、現実世界から得られる身体性を伴ったデータが必要になることが一因です。

身体性を伴ったデータとは、人がどのように物を持つのか、どの順番で作業するのか、現場でどのような判断をしているのか、例外発生時にどのように対応するのかといった、現場の文脈を含むデータです。これらのデータは、インターネット上に自然発生的に存在するものではなく、実際の現場で個人情報やプライバシー、安全性に配慮しながら、意図的に収集・整理・品質管理する必要があります。

すでに米国や中国では、フィジカルAIやロボティクス基盤モデルの開発に向けて、新たなデータ収集ビジネスが急速に立ち上がり始めています。ロボットが自律的に動くためには、まず人が現場でデータを集め、教え、改善する仕組みが必要であり、この領域はフィジカルAI時代の重要な社会インフラになりつつあります。

当社とジールスは、日本国内における現実世界データ収集の仕組みを構築することが重要だと考え、本パートナーシップの締結に至りました。

両者の役割

タイミーは、多様な現場と働き手をつないできた知見を活かし、現場ごとの業務ニーズに応じたワーカー募集、マッチング、就業機会の創出、業務運用のあり方について検討します。

ジールスは、D1の開発・導入・運用に関する知見をもとに、フィジカルAIの学習・改善に必要なデータの定義、収集業務の設計、ロボット導入現場で発生する周辺業務の整理を行います。

両者は、データ収集の業務設計、教育・研修、品質管理、安全管理、レポート体制などを共同で検討し、フィジカルAI時代における新しい仕事カテゴリの創出を目指します。

なお、本取り組みにおける業務設計にあたっては、ワーカーの安全確保やプライバシーへの配慮、データ品質の担保、ならびに業務範囲および責任所在の明確化を最優先課題と捉え、適切なガイドラインを定めた上で慎重に検討を進めてまいります。

本パートナーシップで検討する主な取り組み

1. フィジカルAI向けスポットワークの設計

D1をはじめとするヒューマノイドロボットの学習・改善に活用するために、現場の作業手順、動作、環境、利用者との接点、人による判断や補助の内容などを収集・整理する業務の設計を検討します。

たとえば、施設内での案内導線、受付対応、物品の受け渡し、利用者からの質問対応、現場スタッフによる補助動作など、ロボットが現実空間で活動するために必要なデータを、スポットワークの形で収集できる仕組みを検討します。

2. データ品質を担保する運用体制の検討

フィジカルAIの学習に活用するデータには、一定の品質や一貫性が求められます。そのため、データ収集業務における作業手順、教育、品質確認、安全管理、レポートのあり方を検討します。

単にデータを集めるだけでなく、どのような形式で記録するのか、どのような観点で確認するのか、どのように再現性を担保するのかといった運用設計も含めて、ジールスとタイミーが共同で検討してまいります。関係者間の役割分担や安全管理のあり方を明確にした上で、ワーカーが安心して従事できる運用体制を検討します。

3. ロボット導入・運用支援領域でのスポットワーカー活用

データ収集に加え、D1を企業や施設に導入する際の搬入・設営補助、初期運用サポート、利用者への案内補助、稼働状況の確認、現場レポートなど、ロボットの社会実装を支える周辺業務におけるスポットワーカー活用の可能性も検討します。

ヒューマノイドロボットの社会実装には、ロボット本体の性能だけでなく、導入現場での運用、利用者との接点、トラブル時の補助、改善フィードバックなど、現場側の支援体制が重要になります。本パートナーシップでは、こうした周辺業務も新たな仕事の機会として捉え、検討を進めます。

今後の展望

当社は、ロボットを単なる「人の代替」ととどめず、「新たな仕事を生む存在」と捉えます。ジールス社との連携による可能性を探索しつつ、ロボット導入現場で生じるセットアップや簡易保守などの周辺業務を、多様な人が参加しやすい次世代のスポットワークとして設計します。人とテクノロジーが共存・補完し合うことで、働き方の選択肢を広げ、人口減少社会における労働力インフラの実現を目指してまいります。

企業・ブランド概要

■株式会社タイミー

「働きたい時間」と「働いてほしい時間」をマッチングするスキマバイトサービス「タイミー」を運営しています。働き手は、働きたい仕事を選ぶだけで、履歴書・面接なしですぐに働くことができ、勤務後すぐにお金を受け取ることができます。事業者は、来て欲しい時間や求めるスキルを設定するだけで、条件にあった働き手が自動的にマッチングします。

■株式会社ZEALS

ジールスは、AIエージェント、AIアバター、ロボティクスなどの領域で、企業と生活者の新しいコミュニケーション体験を開発・提供しています。ロボティクス領域では、準国産コンパクトヒューマノイド「D1」の開発・導入・運用を通じて、フィジカルAIの社会実装に取り組んでいます。

■D1（ディーワン）

D1は、ジールスが開発・提供する準国産コンパクトヒューマノイドです。世界水準の技術・部品を取り入れつつ、AI・制御・組立を国内主導で推進。日本の屋内空間に適した設計と、自然な対話、案内、移動、多言語対応、双腕による作業支援を特長とし、医療・介護、製造・物流、ホテルなど、人手不足に直面する現場での社会実装を目指します。